



沼澤道也 議員

小学校統合による廃校活用の状況は

沼澤道也議員 来年度に迫る小学校統合での中田・有屋・明安小学校の廃校活用の検討状況は。

①中田小学校 公売募集を実施しながら防災資機材の保管場所と避難場所として可能な限り活用していく。

②有屋小学校 公売募集を実施しながら避難所や地域での単発的な利用場所として可能な限り活用していく。

総合政策課長 3月での最終検討委員会後、4月に町長指示で課長職を含む庁内検討委員会を設置し、3回開催してきた。事業見直しや公共施設総合管理計画などとも関連した検討で、特に中央公民館のあり方も重視したものととなっている。各校の方向性としては次のように整理している。

③明安小学校 避難場所機能を備えながら、比較的新しい建物であるため、民間譲渡や有償貸し付けを積極的に行う。併せて、地域で利用できるようにしていく。また、8月の中央公民館のあり方検討会でも教室や学童保育なども

廃校活用の展望は

回答 中央公民館のあり方と関連した活用を

含む中央公民館機能移転を要望する意見も踏まえ、来年3月まで方針をまとめる予定としている。なお、民間譲渡や有償貸し付け時の為、譲渡価格や貸し付

け価格を明示できるよう、9月補正において不動産鑑定業務委託費を計上している。

沼澤議員 町外からの問い合わせはあるのか。また、解散した検討委員

員への現状報告をするべきと考えるがどうか。総合政策課長 県外から3件の問い合わせがあった。東北で1年間で83校が廃校となっており、利用については



140年の歴史を終える明安小学校



137年の歴史を終える有屋小学校

グリーンバレー全体の方向性は

回答 R4年度半ばを目途に最終案示す



星川智子 議員

星川議員 JR東日本を通してのシェアードスペースへの集客数の推

終案を示したい。産業課長 新たな組織を立ち上げ、年度内に3回程の検討委員会を開催する予定。委員会での意見の要旨はホームページや広報で示し、寄せられた意見や質問を踏まえ素案を作成する。その後、町の方針案を公表しパブリックコメントを求め最終案を示したい。



新たな方向性を摸索中のグリーンバレー神室



大清水源泉ポンプ操作盤

移は。産業課長 H20年度は宿泊者数9448人に対しJRからの予約は280人で約3%、R元年度では8179人に対し130人で約15%と減少傾向にある。

した現温泉の揚湯量・成分等はどうか。総合政策課長 大清水源泉はH25年度掘削が行われ、当初は揚湯量毎分16ℓ、温度32.7度。タンク内源泉温度については、H28年度は平

均24.3度、R2年度は平均23.2度で1.1度の低下がある。揚湯量については、H28年度は平均毎分12.4ℓ、R2年度は平均11ℓとなり、毎分14ℓの低下が確認できる。

町長 グリーンバレー神室は観光的魅力や雇用の場として非常に重要な施設だが、財政的側面では足かせになっている現状だと言わざるを得ない。財政健全化を進める中で、町民の福祉や行政サービスの充実と維持を図りながら、どう存続させるかという難しい課題に対し、検討委員会で議論を尽くして頂き、その方向を示す所存である。

星川議員 今後の方向性について町長はどうか。

星川議員 今後の方向性について町長はどうか。